

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 3年 3月 1日

事業所名: 障がい児者生活支援施設 ポケットハウス

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---------|----|---|----|-----|---|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 6 | 0 | 利用人数等により部屋を分けて対応している | |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 5 | 1 | 人員配置基準を満たし常勤看護師、保育士の配置あり | |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 1 | 5 | | 建物の老朽化がある・スロープや手すりの設置などがされている部分もあるが重心の子どもが主であることから少しの段差も不便さがある |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 4 | 2 | 毎日清掃や消毒、朝から衛生・安全チェックの実施 | 活動環境としての空間は改善が必要 |
| 業務改善 | 5 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 4 | 2 | | より具体的にわかりやすく共有していく |
| | 6 | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 6 | 0 | その都度確認し意向を優先しているアンケートや個別相談などを行っている | |
| | 7 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 2 | 4 | | 評価を行ってきたがHPへの公表はできていなかった・改善に向けた話し合いや改善事項は都度報告している |
| | 8 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 2 | 4 | | 現在は利用者と社内の評価のみとなっているが、今後検討課題としてまいります |
| | 9 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 5 | 1 | | 不定期で実施 コロナ禍において集団研修でなく資料書類配付により実施等となっている |
| 適切な支援の指 | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか | 6 | 0 | 対面での聴き取りと計画作成前にアンケートの実施を行っている 子どもの状況・課題・保護者からのニーズなどを把握し計画作成に努めています | |
| | 11 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 6 | 0 | 子どもの状態に合わせたアセスメントシートを使用している | |
| | 12 | 児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 6 | 0 | | |
| | 13 | 児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか | 6 | 0 | | |
| | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 5 | 1 | | 部署での会議を行い、職員が共有の目標を持って取り組むことを目指している |
| | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 6 | 0 | プログラム計画を日替わりや週間で設定するが個々の発達に応じて対応している | |
| | 16 | (放課後等デイサービスのみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 4 | 2 | | 平日は放課後時間で短時間となり身体介助が主となりがちである 休日や長期休暇はその分個々の療育や支援を設定している |

| | | | | | |
|--|----|--|---|---|---|
| 児 供 | 17 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか | 6 | 0 | 個別支援だけにならないように気をつけているが個別の支援のほうがニーズが強い方は個別支援が優先してしまっている |
| | 18 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 6 | 0 | 朝礼の実施、送迎時の家族さんの申し送り内容の連絡を含め口頭やメール連絡にて共有と確認を行っている |
| | 19 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 6 | 0 | 終わりの会の実施と送迎後に最終的な振り返りや記録記入にて共有している |
| | 20 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 6 | 0 | 日報への記入と個別の実施記録にて支援の検証と改善につなげている |
| | 21 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 6 | 0 | 概ね6ヶ月に1度見直しを実施 (支援に大きな変更点があればその都度実施) |
| | 22 | (放課後等デイサービスのみのみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか | 4 | 2 | ガイドラインに基づいて支援を行っている 基本を把握しながら当施設の特色を出していけるようにしたい |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 23 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 6 | 0 | 施設長や管理者、児童発達支援管理責任者など適任者を選んで出席しています |
| | 24 | (児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか | 6 | 0 | 保健師からの相談を受け、支援が必要なお子さんの紹介に応じたり、保育所やこども園からの見学や相談に対応し連携を図っている |
| | 25 | (放課後等デイサービスのみのみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 6 | 0 | 基本的には家族さんから連絡をいただくかたちとなっているが、送迎時に担任の先生との申し送り時に細かい確認もできるように努めている |
| | 26 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか | 5 | 1 | 今後より地域保健や教育などの関連機関との連携は今後一層の課題と考えられる |
| | 27 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか | 6 | 0 | 利用している方全員対象で緊急時の指示書をいただき、緊急時に備えている 家族さんを通してのやり取りが主になっているが実施報告などを行い、日々連携を強化に努める |
| | 28 | (児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | 5 | 1 | 移行先や保護者の要望に応じて情報提供を行っている また事前に見学に来ていただいたりして現状把握をしてから移行に向けてスムーズに準備できるようにしている |
| | 29 | (児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | 4 | 2 | 日々の状態の情報の共有はしっかりと行っているが、各々の計画や目標等細かい部分の相互理解には至っておらず課題となっている |
| | 30 | (放課後等デイサービスのみのみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 6 | 0 | ケース会議などで行っている |
| | 31 | (放課後等デイサービスのみのみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 6 | 0 | 移行までに移行先の事業所との連絡やりとりや担当者会議にて情報の提供や共有を行っている |
| | 32 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 4 | 2 | 事業所連絡会に出席し各事業所の現状や課題を話し合う機会がある |

| | | | | | | |
|------------|----|---|---|---|--|--|
| | 33 | 児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか | 0 | 6 | 現在は実施していないが過去に子育て広場への参加を行っていた また、児童が保育所と療育を平行通園できるように調整や午後からの時間帯を療育とする等保護者の希望に応じて連携を行っている | |
| | 34 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか | 4 | 2 | 参加している 通所事業所連絡会にて持ち回りであるが参加している | |
| | 35 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 6 | 0 | 送迎時や随時電話連絡、連絡帳で日々の状況を共有している | |
| | 36 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか | 4 | 2 | | こちらからの直接的な支援はできていないが、相談には随時応じている |
| 保護者への説明責任等 | 37 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 6 | 0 | 契約時の面談時に書面を確認しながら行っている | |
| | 38 | 児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか | 6 | 0 | 計画書を1部配布し、確認していただきながら説明している 説明後に同意を得るようにしている | |
| | 39 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 5 | 1 | 日頃から送迎などで顔を合わせる時には話しやすい雰囲気づくりを行い、相談があれば随時対応している | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 0 | 6 | 現状保護者会などを行っていないが早急に検討し、保護者の方に無理なく参加していただい、保護者同士の連携を支援していく | |
| | 41 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 6 | 0 | 要望などがあれば出来る限り迅速な対応を心掛けている | |
| | 42 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 6 | 0 | 不定期であるが2~3か月に1度活動写真などを添えたおたより配付を行っている | 不定期でなく定期的に配付できるように検討している その中でより施設での様子や状況を伝えていけるようにしたい |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分注意しているか | 6 | 0 | 契約時に書面での確認や同意書をいただくようにしている | |
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 6 | 0 | 連絡帳にて活動内容や様子を分かりやすく記入し伝えている | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 0 | 6 | | 地域には開かれているが行事の参画までには至っていない |
| 非常時等の対応 | 46 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか | 6 | 0 | 全てではないがお便り等で周知していただけるようにしている | 各マニュアルの策定とお便りなどによる周知がより行えるようにする |
| | 47 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 6 | 0 | 月に1回地震や火災を想定した避難訓練を実施している | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか | 6 | 0 | 契約面談時に聴き取りとフェイスシートでの基本情報把握を行っている・子どもに応じた緊急時対応の指示書作成をし連絡帳への貼り付けと個別記録のバインダーにて常時確認 | |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 6 | 0 | 始めのアセスメント時から1年に1回アレルギーの確認表に記入していただき、アレルギー症状や処置方法などを確認するようにしている | |
| | 50 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 6 | 0 | 事例が起こった際にはヒヤリハット報告書を作成し、話し合いなどにより対策と対応方法を検討し職員間で共有している | |
| | 51 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 6 | 0 | 県からの虐待防止・権利擁護研修に管理者や人権擁護推進委員が受講し、受講者により施設内で再度研修の実施を行っている | |

| | | | | |
|----|--|---|---|---|
| 52 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか | 6 | 0 | 必要時は計画への記入を行い、行動制限の実施については説明と同意書により了承を得るようにしている |
|----|--|---|---|---|

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。